

霧島メガソーラー 住民グループが 県に不認可要請

霧島市霧島田口の大規模太陽光発電所（メガソーラー）計画に反対する地元住民らが18日、開発を認可しないよう県に文書で申し入れた。急傾斜の土砂災害警戒区域に予定地があるとして、災害の恐れなどを訴えている。



文書によると、予定地は霧島神宮方面に向かう県道・国分霧島線の東側。県内最大の80メガワットで県外業者が手掛ける。県への許認可の

手続きは申請されていない。霧島市長は2月、業者側に計画反対を伝えた。

申し入れた住民グループ代表の中村満雄さん(72)は「業者からの説明は一切ない。現地状況や霧島市の意向を確認し、開発の申請があっても認可しないしてほしい」と要望。県の担当者は文書を受け取り、「関係部署につなぐ」と答えた。
(春山秀武)

鹿児島県庁 18日

●三役・部長

三反園知事 午前10時

鹿児島大学学長就任表敬

県庁、午後1時半 県消防

関係功労者表彰式 同、2

時35分 ファミリーマート

が新商品発売で表敬 同▽

五田商工労働水産部長 霧

島市▽地頭所総括危機管理

防災監 東京▽福元県立病

院事業管理者 午後庁外▽

ほか在庁